



2022年 2月10日発行 会報 第1089号

今週のプログラム

(2022年 2月10日 第1089回例会)

【ZOOM例会】

卓話：「膝が痛い…」

担当：松田 親男 会員

次週のプログラム

(2022年 2月17日 第1090回例会)

【ZOOM例会】

卓話：「諸事（よもやま）の御報告」

担当：藤田 芳浩会員

第1088回例会 (2022年 2月3日) の記録

<会長の時間>

水島 洋会長

皆さん、こんばんは。

アクサさん、ようこそ。

2月の声をききまして、暖くなるまでもうしばらくの辛抱です。

新型コロナウイルスの感染については終息までまだまだかかるでしょうが、皆さまどうぞご注意ください。

本日の卓話は、黒川会員の「コロナ禍を考える」です。

黒川会員にはこの2年にわたってコロナについてのいろいろな情報を提供していただいておりますが、本日はどんなお話を聞かせていただけるか。どうぞよろしくお願いします。

先週山本幹事より、地区危機管理委員会からのオミクロン株対策についての案内がありましたが、2月9日IM第2組の会長幹事会は対面形式で実施すると連絡がありました。

ガバナー補佐を決めるためのくじ引きをするために対面が必要という理由です。

ZOOM例会での開催を申し入れています。命がけで参加するかどうか、今一度考えてみます。



<本日のビジター> 2021 学年度 米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニさん

<出席報告>

会員数 (内出席免除会員 1 名)	17 名
本日の出席者数	12 名
(内出席免除会員 0 名)	
(名誉会員 0 名)	
本日の出席率	75%



<ロータリーソング>

全会員

♪国歌 君が代

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる齒車 いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー

奉仕の理想

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. IM 第 2 組ロータリーデーの出欠回答期日が本日ですので、高槻東 RC に登録表を提出致しました。出欠回答を頂けなかった方は欠席とさせて頂きましたのでご了承ください。
2. RI 日本事務局の経理事務作業が遅延しておりますので、確定申告用領収書がまだ事務局に届いておりません。
3. 本日例会終了後、理事会を行いますので、理事・役員の皆様は ZOOM にお残り下さい。

<2月3日 理事会報告>

- ① トンガ海底火山大規模噴火支援金は災害支援基金より 2 万円拠出して支援金を送金する。
- ② 2 月は情勢を見ながら ZOOM 例会を継続する。

<2月の誕生日> 山本 友亮会員 (10 日) 水島会員 (21 日)



Happy Birthday

<卓話>

「コロナ禍を考える」

黒川 彰夫会員

本日は1月15日の医師会のデータを基にお話をしたいと思います。

1月14日感染者数 (NHKまとめ) 大阪 2,826名 東京 4,051名 全国合計 22,045名

2月2日 感染者数 (NHKまとめ) 大阪 11,171名 東京 21,576名 全国合計 94,930名

となっており、新型コロナウイルスは次々と変異し、オミクロン株が猛威を振るってきて

います。私は医師会で人権担当をしておりますので、コロナ禍において無視されている人権についてお話を致します。医療関係者の家族に対する差別や、ワクチン接種を拒否する人に対する差別もあってはならない事です。

今回は新型コロナ感染症の後遺症についてお話したいと考えております。

コロナ禍を考える

黒川 彰夫

とくに、「コロナ禍での人権」を考えましょう！

千里メイトロータリークラブ

2022年2月3日

1月14日 新たに確認された感染者数 (NHKまとめ)

これは、1月15日に医師会で講演で使ったデータです。

1月14日 23:59時点

全国合計 22045人

北海道 467

東北 92

関東 27

中部 23

近畿 33

中国 76

四国 50

沖縄 200

大阪 2826

東京 4051

新型コロナウイルスは、次々と変異し、オミクロン株が猛威を振るってきています。

2月2日 新たに確認された感染者数(NHKまとめ)

2月2日 18:29時点

全国合計 94930人

北海道 3587

東北 115

関東 192

中部 221

近畿 276

中国 720

四国 665

沖縄 790

大阪 11171

東京 21576

新型コロナウイルス感染は急拡大しています。

新規陽性者数の推移

第1波 第2波 第3波 第4波 第5波 第6波

重症者数の推移

第6波

2022年は、「コロナ禍での人権」を考える！

コロナ禍における差別問題が最初に表面化したのは、ダイヤモンドプリンセス号の医療関係者だったそうです。診療に当たった医療関係者が、中傷されたり、子供を保育園に登園させないよう求められたりしたそうです。

2020年09月03日(木) (NHK解説アーカイブより)

米原 理生(よねはら りせい)解説委員は、次のように述べています。

「診療にあたる人たちへの差別はその後も各地で問題になっていて、それ自体、あってはならないものです。」

「加えて『目の患者を救世という使命感で仕事をしたことが、自分や家族に差別に合うという不当な結果になるのであれば、医療現場の崩壊につながりかねません。実際に看護師が退職したケースも報告されています。』

公益財団法人人権教育啓発推進センター

STOP! コロナ差別

#正しい理解を #差別はやめよう

同センターには「新型コロナウイルス病棟勤務の看護師さんの夫が職場で『奥さんが仕事を辞めないのなら貴方が会社を辞めてもらいます』と心無い言葉を浴びせられたという報告があったそうです。

また、別の看護師さんは、自分の子どもが通う保育園で、同じ保育園の保護者から『子供さんを保育園に通わせないで』と言われたという報告もあったそうです。

そこで、「日本財団」のホームページを拝見しています。「新型コロナウイルスによる差別の撲滅」に力を入れておられる人権教育啓発推進センターの田南立也(たなみ たつや)専務理事が、非常に示唆に富んだ話をされているので、参考させて頂きました。

それによりますと、コロナ差別やいじめが生まれる背景には、「新型コロナウイルスに対する正しい知識を持たないことから、過度に不安や恐れを抱いてしまい、過剰な行動に走ってしまう」と田南さんは警鐘を鳴らしています。

更に、「**新型コロナウイルスは人類にとって大きな試練であり、人間性を問われるテストとも言える**」と述べておられます。

そして、最後に「社会に対し、『**恐れるべきはウイルスであって、人ではない!!**』『医療従事者の方々とその家族にエールを送ろう』『Do Your Part それぞれの立場で共に戦おう』という思いも伝えていきたいと考えています」と訴えておられます。

ところで、私は、医師会で次のように述べました。

「我々は、コロナ禍で人権について、真摯な態度を保つことが出来ていますか？」
「今は、患者さん側からは、**医師の人間性が問われるテスト**とも言える時期」なのかも知れません。

そこで、私は医師会会員の先生方に次のように問いかけてみました。

さて、先生方はワクチン接種拒否の患者さんや医療従事のスタッフの扱い方に苦慮することはないでしょうか？ さらに、次のような意見を提示しました。

ドイツの56人の教授や医師たちは強制接種に反対して7つの論点として次のように列挙しています。

- 1) コロナはワクチンでは終息しない
- 2) ワクチンリスク高
- 3) 複数回接種のリスクが未研究
- 4) ワクチン義務化は憲法違反
- 5) コロナ患者による病院過負荷は未証明
- 6) ワクチン以外の対策が不十分
- 7) ワクチン義務化は社会分断を加速させる

最後に、医師会の先生方にお尋ねしました。

ワクチン接種を拒否する患者さんやスタッフにどのように接しておられますか？
何人かの先生方にお聞きいたします。

- ① 周囲にそのような方がおられますか？ ② どのように対応しますか？

